



第5回 日本介護支援専門員協会全国大会 in 鹿児島 第2回 九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会 鹿児島大会

開催要項

大会テーマ

介護保険10年 燃える薩摩から熱い力を！
～ ケアマネジャーとして応えていこう 多様化する時代のニーズに ～

開催期日

平成23年 2月18日(金)・19日(土)【2日間】

開催地

鹿児島市 城山観光ホテル 他

第5回日本介護支援専門員協会全国大会in鹿児島 第2回九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会鹿児島大会 開催要項

テーマ

介護保険10年 燃える薩摩から熱い力を！

サブテーマ

～ケアマネジャーとして応えていこう 多様化する時代のニーズに～

大会趣旨

介護保険法施行10年という節目の年に本大会は開催されます。日本の介護保険は、施行時から法の中に介護支援専門員と高齢者の一人一人に対するケアマネジメントを明確に位置付け、利用者の自立支援を行ってきました。

介護と医療の連携が一層推進される中で、平成24年4月は介護保険法の改正・施行、そして診療報酬と介護報酬の同時改定も予定され、非常に重要な時期と言えます。

こうした状況を踏まえ、今回の大会では、改正介護保険法の全貌を研究し、より良いケアマネジメントに活かしたいという当協会会員の要望に応えようと計画いたしました。

高齢者を取り巻く環境は厳しいものがあり、それに伴いニーズは多様化しております。われわれ介護支援専門員は専門職として応えていかなければなりません。この大会は、介護支援専門員の熱い力を支える大会といえます。

主催

一般社団法人日本介護支援専門員協会・特定非営利活動法人鹿児島県介護支援専門員協議会・
社団法人福岡県介護支援専門員協会・佐賀県介護支援専門員協議会・
特定非営利活動法人長崎県介護支援専門員連絡協議会・熊本県介護支援専門員協会・
特定非営利活動法人大分県介護支援専門員協会・一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会・
一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会

後援

厚生労働省（予定）・鹿児島県・鹿児島市・鹿児島県医師会・鹿児島県歯科医師会・鹿児島県薬剤師会・
鹿児島県看護協会・鹿児島県社会福祉協議会・鹿児島県社協老人福祉施設協議会・鹿児島県老人保健施設協会・
社団法人日本福祉用具供給協会鹿児島ブロック・南日本新聞社・南日本放送・K T S鹿児島テレビ・
鹿児島読売テレビ・鹿児島放送

開催期日

平成23年2月18日（金）・19日（土）2日間

大会会場

1日目 2月18日(金)

開会式・分科会会場 **城山観光ホテル**

〒890-8586 鹿児島市新照院町41番1号
TEL (099) 224-2211

2日目 2月19日(土)

全 体 会 場 **鹿児島県文化センター(宝山ホール)**

〒892-0816 鹿児島市山下町5-3
TEL (099) 223-4221

参加費

会員：8,000円 非会員：16,000円 学生：3,000円

※参加申込み締切は、平成22年12月25日(土)とさせていただきます。

定員

1,200名 [開会式・分科会会場 2/18(金)：城山観光ホテル
全 体 会 場 2/19(土)：鹿児島県文化センター（宝山ホール）]

交流会

城山観光ホテル2階 ロイヤルガーデン

平成23年2月18日(金) 18:15 より交流会を開催いたします。

お一人様8,000円（消費税・サービス料・飲み物代込）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 鹿児島県介護支援専門員協議会

〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目30番8号（県老人福祉会館2F）

TEL 099(255)0072/FAX 099(298)1737

E-mail kagozen@po5.synapse.ne.jp URL <http://www3.synapse.ne.jp/kaken-cm>

日程

2月18日(金) **1日目**

10:30	開 場（介護機器展）
11:00	受付開始
12:00	オープニングアトラクション
12:30	開 会 式
13:10	基調報告「改正介護保険法の概要（仮題）」 厚生労働省 老健局 振興課長 川又 竹男 氏（予定）
14:10	基調講演「どうなる日本の政治・経済と社会保障制度（仮題）」 テレビ朝日コメンテーター 三反園 訓 氏
15:30	休 憩
15:45	各分科会開始

全体テーマ 「介護保険10年 燃える薩摩から熱い力を！」 会場：城山観光ホテル

第1分科会 「介護支援専門員の資質向上を図るための人材育成と確保」

第2分科会 「介護支援専門員と居宅介護サービスとの連携の在り方とケアマネジメント」

第3分科会 「変わりつつある在宅医療での医療と介護の連携を求めて」
～平成24年度の診療報酬と介護報酬ダブル改定を視野に入れて～

第4分科会 「地域包括支援センターにおける、包括的・継続的ケアマネジメントについて」

第5分科会 「事業所運営と利用者主体の支援」

ミニシンポジウム「施設ケアマネジメントを展望する」

17:55 1日目終了

18:15 交流会

- 8 : 30 受付開始
- 9 : 00 各分科会報告
- 9 : 40 講演①「各職域部会による介護支援専門員ビジョンの発表」
一般社団法人 日本介護支援専門員協会 職域部会担当役員
- 10 : 15 休憩
- 10 : 30 講演②「どう変わる介護保険法そして介護支援専門員には
何が求められているか(仮題)」
厚生労働省 老健局 総務課 課長補佐 東内 京一 氏(予定)
- 12 : 30 閉会式
- 12 : 45 大会終了

講演者プロフィール

みたその さとし
三反園 訓 氏(テレビ朝日コメンテーター)

【職歴・経歴】 1958年鹿児島県指宿市生まれ。
1980年早稲田大学卒業後、テレビ朝日入社。社会党担当を振り出しに政治記者となる。総理官邸、自民党担当時代には金丸副総理や安倍晋太郎幹事長など主要政治家を担当し数々のスクープを獲得する。
その後総理官邸、自民党、外務、防衛、大蔵省庁のキャップを務め1990年からテレビ朝日「ニュースステーション」の政治担当キャスターとして活躍。
その間、中曽根康弘氏から小泉純一郎氏まで歴代総理大臣のサミット出席に同行するなど、与野党要人の海外同行取材を数多く経験する。
現在、テレビ朝日「やじうまプラス」「スーパーモーニング」など出演。

【著 書】 総理大臣の器(講談社)
ニュースステーション政治記者奮闘記(ダイヤモンド社)

とうない きょういち
東内 京一 氏(厚生労働省 老健局 総務課 課長補佐)

【職歴・経歴】 1986年埼玉県和光市役所入庁後、税務課・国民健康保険課等を経て、2000年より介護保険室に配属、その後、機構改革により高齢者福祉所管と介護保険所管を統合した長寿あんしん課で課長補佐・介護福祉担当統括主査・地域包括支援センターリーダー・後期高齢者医療担当統括主査を兼務、地域性を重視した介護保険事業運営を中心に保健・医療・福祉政策を構築し地域包括支援体制を推進してきた、2009年4月より現職に就く。

【これまでの経歴】 厚生労働省所管 老人保健健康増進等事業
・地域包括ケア・介護予防研修センター運営委員会委員長
・地域包括支援センターの在り方に関する検討委員会委員長
総務省所管 自治総合センター事業
・地域の活性化に関する研究会委員

【著 書】 これからの介護予防・地域ケア(サンライフ企画出版・東内著)
介護保険の公的責任と自治体(自治体研究社・共著)
地域包括支援センター実務必携(オーム社・高橋紘士編・共著)
わかりやすい介護保険法の手引き(新日本法規・共著)

分科会概要

分科会主旨

我々介護支援専門員には、介護保険制度の要となる専門職として、利用者からはもちろんのこと、国民すべてから常に大きな期待が寄せられている。それは、介護保険制度の要であると同時に、勤務している施設及び事業者の立場で地域の核となって活躍の場が広がっている証である。その実践をこの分科会を通じて振り返り分析することで、今後の活動の糧とすることを目的とする。

第①分科会 「介護支援専門員の資質向上を図るための人材育成と確保」

介護支援専門員には、利用者本位、自立支援、公正中立等の理念の基に、適切なケアマネジメントを実践することが求められている。そのためには、ソーシャルワーク技術、高齢者の権利擁護（虐待対応を含む）、認知症の理解、排泄ケアの理解等あらゆる分野において幅広い知識や技術を身につけておかなければならない。また、絶え間なく実施される保健・医療・介護・福祉に関する制度改正への対応が求められている。

これら介護支援専門員の質の向上に向けた取り組みやメンタルヘルスを含めたバックアップ体制や人材確保等を現場ではどのようにして実践し、どのような成果が得られているかを検証し、今後の在り方を考える。

第②分科会 「介護支援専門員と居宅介護サービスとの連携の在り方とケアマネジメント」

介護支援専門員が専門職として、常に意識しなければならないことは、利用を希望するサービスだけに目を向けるのではなく、利用者本位、自立支援、公正中立といった介護保険の基本理念を徹底することである。ケアマネジメントの実践では、サービスを利用することで、これまで継続していた地域とのつながりが途絶えてしまわないように留意し、プランを作成することも介護支援専門員には求められている。

そこで、居宅介護サービス、地域密着型サービス、地域包括ケアシステム（様々な専門機関やインフォーマルサービス等も含む）、地域包括支援センター等との連携を踏まえた、これまでの実践事例により、多職種・多機関との連携の在り方を考える。

第③分科会 「変わりつつある在宅医療での医療と介護の連携を求めて」 ～平成 24 年度の診療報酬と介護報酬ダブル改定を視野に入れて～

在宅医療は、介護保険制度導入により主治医のほかに介護支援専門員や多職種の関係者が関与することになり、一方では医療の高度化やターミナルケアの需要拡大などによりその内容や役割が大きく変化しようとしている。更に平成 20 年度の「新医療計画」で「4 疾病 5 事業」が実施されることになり、急性期医療から回復期そして在宅医療という大きな流れの中で、かかりつけ医と患者を軸としての地域完結型医療のネットワーク作りが進められている。今回、急性期医療の段階から介護支援専門員との連携が求められ、その後方支援である在宅医療現場では、24 時間・365 日体制の安心・安全な医療環境整備が必要とされる中で、介護支援専門員が医療・介護従事者と如何に連携していけるかを考える。

第4分科会 「地域包括支援センターにおける、 包括的・継続的ケアマネジメントについて」

地域包括支援センターの制度化5年を経過する中で、主任介護支援専門員の地域での役割やスーパーバイザーとしての資質等検証し、次期介護保険改正において「地域包括支援センター」の持つべき機能と役割についての方向性を再確認する。

また、国が進めている「地域ケアシステムの構築」に向けて、地域の医療・福祉・介護サービスのコーディネート主体として、その役割の拡大と明確化が言われている。このような中で、地域での暮らしを支援する専門職として、多様なサービスの有機的連携の在り方を議論し、包括的・継続的ケアマネジメントの望ましい姿を考えていく。

第5分科会 「事業所運営と利用者主体の支援」

平成21年度の改正により新たな加算体制が整い、安定した事業所運営と職員に対する処遇改善とともに、ケアマネジメントの質が向上することが期待されている。そこで、その効果があらわれているのか「収支状況」「事業所加算への対応と処遇改善の取り組み」「法人本体事業との連携」「地域のニーズに即した事業所運営の在り方」「事業所管理の方法」等について現状と課題を分析する必要がある。また、事業所運営にはリスクマネジメントの実践が必要不可欠であり、「事故防止」「事故後の対応」「インシデントの取り扱い」「緊急時対策」「苦情処理と人権」等の対応についての研究も深めなければならない。

この分科会においては、事業所運営と利用者主体の関係性をテーマに介護支援専門員が抱える課題と今後の方向性について考える。

ミニシンポジウム 「施設ケアマネジメントを展望する」

平成24年度介護報酬改定が目玉の一つとして、施設介護支援専門員の配置基準の見直しが挙げられる。現行の「利用者100人対介護支援専門員1人」の是非のみならず、専従と兼任の議論、介護支援専門員と支援相談員との関係性なども正面から議論を尽くしたい点になる。

さらに、「ケアマネジメント＝居宅のもの」という印象も強く、施設ケアマネジメントの質についても居宅ほどは議論がされてこなかった。また、「施設」の概念も統一性に欠ける面もあり、施設と居宅の定義も揺らいでいる。当然、介護保険3施設にも施設特性からケアマネジメントの差異も云々されている。施設における医療の提供状況も異なっており、高齢者の医療保険との整合性も考慮したものも求められてくる。平成24年度の医療・介護報酬の同時改定を見据え、かつ現状を踏まえ、かつ平成21年度地域包括ケア研究会報告書の内容も踏まえ、介護保険3施設の特養、老健、介護療養型病床や居宅系施設とも言われる特定施設などから演者を募り、施設別のケアマネジメントの今後の展望にも踏み込んだ議論を行いたい。

研究発表・ポスターセッションの発表者募集

◆あなたの発表をおまちしております。

「各種研修会を受講後、事業所に帰ってからの取組みや気づいたこと」から「こんなことに苦労している」「ちょっとした工夫が思いがけず良い結果を生んだ」「ちょっと私たちの自慢を聞いて」、そんな普段の悩みと努力こそが、仲間と共有すべき大切な財産です。また、「こんなこと全国大会で発表していいの?」といった不安も不要です。仲間の身近な悩みや工夫こそ共有の価値があります。

◆分科会での実践研究発表ならびにポスターセッションの発表者を次のとおり募集いたします。

- ①**応募資格**：本大会の参加者であること（発表者は必ず本大会への申込をお済ませください）
- ②**発表件数**：同一事業所から複数のお申込みも歓迎いたします。
なお、同一発表者の発表は一つに限らせていただきます。
- ③**発表採択**：演題申し込みを頂き、大会演題に採択された方には後日通知します。
- ④**分科会発表**：各分科会座長により、二日目に分科会報告で発表頂いた内容を踏まえ、全体に報告いたします。
- ⑤**費用**：参加費・旅費・宿泊費・資料作成費・郵送費等、各自のご負担となります。
- ⑥**発表申込方法**：本紙（8頁）の申込用紙に必要事項をご記入の上、平成22年11月30日(火)までにFAXもしくはE-mailに添付して鹿児島県介護支援専門員協議会事務局までお送りください。
大会専用メールアドレス：kagozen@po5.synapse.ne.jp FAX：099(298)1737

◆応募の流れ

実践研究発表	
応募の流れ	締 切
①全国大会への参加申込 ↓	
②研究発表演題への応募 ↓	11月30日(火) 必着
③抄録原稿の提出 ↓	12月10日(金) 必着
④当日発表用データ提出 ↓	2月3日(木) 必着
⑤全国大会において発表	2月18日(金)

ポスターセッション	
応募の流れ	締 切
①全国大会への参加申込 ↓	
②ポスターセッションへの応募 ↓	11月30日(火) 必着
③ポスターの提出 ↓	2月3日(木) 必着
④全国大会において展示	2月18日(金)

◆抄録原稿の提出について

- ①実践研究発表の抄録は、全国大会抄録集に掲載し参加者に配布いたします。発表者は必ず下記の要領に従い、提出をお願いいたします。
- ②発表内容が介護保険法違反の取組みであった、というような事がないよう、事前に発表者の責任で制度確認を行なってください。また、今の制度では規制されているが、このようなことがご利用者のために必要である、というようなことは、規制緩和、制度提案の形で積極的に発表してください。
- ③ご利用者の氏名・写真等を掲載する場合、個人情報保護法の観点から、必ずご本人またはご家族の承諾を得てください。

◆抄録原稿の書き方

- ①様式：日本介護支援専門員協会全国大会in鹿児島ホームページから「抄録原稿テンプレート（様式）」をダウンロードして下さい。
大会公式ホームページ：<http://arrow-tourist.jp/>
- ②抄録は1発表（演題）1ページとします。
- ③図や表を使用する場合も、1ページの中に収めてください。
- ④抄録原稿は手書きではなく、必ずパソコンを用いてください。
- ⑤抄録原稿見本のフォント（書体）やポイント（字の大きさ）、上下左右の余白（ほぼ20mm）等、様式のページ設定を変更する事なく、記載にしたがって作成してください。色は黒一色とします。
- ⑥用紙は、A4サイズを使用します。規定の余白は綴込みや演題番号などの記入に事務局で必要としますので、必ず守ってください。

- ⑦参加者が多数の演題の中から自分の聞きたいものを素早く選べるよう、取組みと最も関係あるキーワードを必ず3つ重要度順に記載してください。
- ⑧本文の文字の大きさは、9ポイントで記載し、2段組（左右の2段に分ける）とし一行を全角22文字とします。また行数は32～39行（全部で約1,500～1,800文字）で校正してください。図表を入れる場合も、この範囲に収めてください。
- ⑨本文は原則として＜取組み課題＞＜具体的な取組み＞＜活動の成果と評価＞＜今後の課題＞＜参考資料など＞で構成し、章の区切りにこれらの表題を見本のようにセンタリング（中央揃え）で入れてください。
- ⑩簡条書きにできるところは、なるべく簡条書きで記載されると理解しやすくなります。

◆当日発表用データの作成について

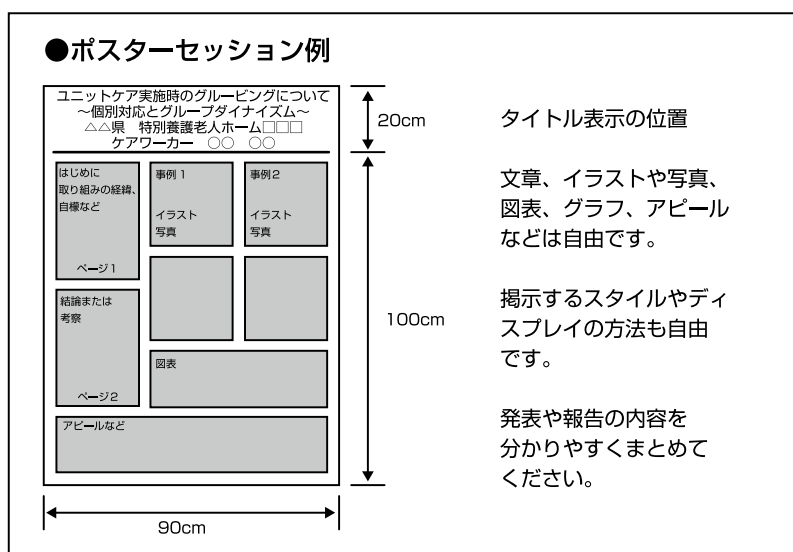
- ①抄録原稿とは別に、発表用データを作成してください。
データはwindows98・2000・Me・XPで作成したパワーポイント2003までのバージョンとします。（Office2007には対応できません）。Windows Vistaで作成したものは必ずバージョンをおとしてください。また、Macintosh等で作成したデータについては対応できませんのでご了承ください。
- ②データの総量は300MB（圧縮なし）までとし、スライド枚数は発表時間等から勘案し20枚程度としてください。
- ③動画の使用は、パソコン動作のトラブルになる可能性がありますので、使用しないでください。音声についても対応できませんので使用しないでください。（外部スピーカーの用意がありません）
- ④本全国大会の実践研究発表は、介護支援専門員としての専門性を高めるためのものであり、説明は客観的に理解できるデータをできるだけ用いて行なうようにお願いいたします。
- ⑤スライドは会場の参加者にみてもらい、説明を補うためのものです。遠くから見えないような小さな文字や表は、参加者の皆さんにとって残念なものです。また、じっくり読んで理解するものではなく、目で見で一瞬で理解できるよう、長々とした文章ではなく、説明の中のキーワードを簡条書きで表現してください。説明の全てを盛り込もうとすると、かえって理解の妨げになります。
- ⑥表よりもグラフの方が直感的に理解しやすいと思います。その場合も1枚にグラフは多くても4つまでとする方が見やすいでしょう。どうしても表を用いる場合は、記載の文字が小さく読みにくくなる傾向がありますので、十分配慮してください。
- ⑦発表する研究や取組みが、調査研究中または継続中で、完了していなくてもかまいません。私たちが抱えている課題は簡単に解決できるようなものではありません。発表の課題が、全国の仲間も抱えているような事案なら、ともに悩み努力している人がいることを知るだけでも、参加者にとって今後の仕事の大きな支えになるでしょう。

◆当日発表の方法について

- ①発表にあたっては、事務局が準備したパソコンを使用し、発表者本人に操作していただきます。
- ②発表は1人当たり8～10分とし、質疑応答を5分とります。ただし、発表者が多かった場合等には質疑応答を割愛する場合があります。
- ③発表が制限時間を越えて終わらない場合は、司会者が中断する事があります。
- ④発表時間が限られていますので、事業所説明等（施設所在地がどこにあるか等）は極力省略し、演題に関わる事に限定してください。
- ⑤抄録以外に発表内容に関連する資料を必要数印刷して持参し、配布することは差支えありません。ただし、発表中は会場照明を落としますので、手元の配布資料は見えにくくなる場合があることをご承知おきください。

◆ポスターの作り方について

- ①ポスターの規格は縦120cm、横90cmです。
- ②レイアウトは自由ですが、タイトル【演題（副題を含む）、都道府県名、事業所名、職種名及び発表者名】は必ず明記してください。詳細はポスターセッション例を参照してください。
- ③ポスターは全国大会終了後、返却いたします。



第5回日本介護支援専門員協会全国大会 in 鹿児島

実践研究・ポスターセッション 発表申込書

下記申込書にご記入の上、平成22年11月30日(火)までにFAXもしくはE-mailに添付してお送りください。

発表形態 ○で囲んでください	1. 実践研究発表 2. ポスターセッション	希望分科会NO. (1.実践研究発表に○印の場合)	
発表テーマ			
都道府県名 指定都市名		(ふりがな) 発表者氏名	
事業種別 ○で囲んでください	地域包括 ・ 居 宅 ・ 施 設 ・ 研究機関 サービス事業 ・ その他 ()	会員の有無	有 ・ 無
職 種			
事業所名			
事業所住所	〒 _____		
TEL 番号		FAX 番号	
E-mailアドレス			
その他、通信欄			

<申込先>

特定非営利活動法人 鹿児島県介護支援専門員協議会
 実践研究発表・ポスターセッション係
 鹿児島市鴨池2-30-8 県老人福祉会館2 F
 TEL : 099-255-0072 FAX : 099-298-1737
 E-mail : kagozen@po5.synapse.ne.jp

大会参加・宿泊・交流会・視察研修等のご案内

この度は第5回日本介護支援専門員協会全国大会 in 鹿児島・第2回九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会鹿児島大会が、鹿児島県鹿児島市にて開催されますことを心よりお慶び申し上げます。大会参加・宿泊・交流会・視察研修等のお申込を弊社が担当窓口とさせて頂くことになりました。つきましては下記のご案内を致しますので多数のご参加を心よりお待ちしております。



アローツーリスト株式会社

代表取締役 中間 幹夫

大会会場

開会式・分科会会場：城山観光ホテル

2月18日(金)・1日目

全 体 会 場：鹿児島県文化センター(宝山ホール)

2月19日(土)・2日目

※会場名等のご参加の方に後日送付する各参加券に記載いたします。

参加費のご案内(お一人様あたり)

参加費：「会員」8,000円 「非会員」16,000円 「学生」3,000円

※申し込み後の参加費の返金は一切いたしませんのでご了承ください。但し、参加券添付の上資料請求があれば後日資料を送付いたします。

参加申込締切日 平成22年12月25日(土)

交流会について

お一人様 8,000円(消費税・サービス料・飲み物代込)

※2月18日(金)城山観光ホテル2階 ロイヤルガーデン 18:15～

※交流会会場は後日請求書と一緒に送付する券に明記いたしますのでご確認ください。

昼食について

昼食代 1,300円(お一人様あたり・お茶付)

※2月18日(金)11:30より城山観光ホテル2階 ロイヤルガーデンにて

お申込みについて

大会参加・宿泊・交流会・視察研修等のお申込みは、巻末申込書にご記入いただき **FAX(099-226-7031)** もしくは、**ホームページ**(<http://arrow-tourist.jp/>)よりお願い致します。

航空便のご案内(団体適用料金になります)

申込記号	出発日	出発地	出発時間	到着地	到着時間	団体適用料金	普通運賃
あ	2月17日(木)	東京(羽田)	16:30	鹿児島	18:15	19,000円	39,000円
い	2月18日(金)		08:20~09:35		10:25~11:20		
う	2月17日(木)	大阪(伊丹)	14:50~16:55		16:05~18:05	16,000円	26,800円
え	2月18日(金)		10:00		11:15		
お	2月17日(木)	中部国際	15:05		16:35	20,000円	32,200円
か	2月18日(金)		08:05		09:35		
き	2月19日(土)	鹿児島	14:20	東京(羽田)	15:55	19,500円	39,000円
く	2月19日(土)		14:00~16:50	大阪(伊丹)	15:10~18:00	18,000円	26,800円
け	2月19日(土)		14:05~15:20	中部	15:20~16:40	20,000円	32,200円

※上記、発着時間は平成22年9月現在のものです。発着時間に変更される場合もございますので、予めご確認ください。

※航空機最少催行人員は10名となります。10名に満たない場合は個札航空券にて対応させていただきます。

有料シャトルバスのご案内(お一人様 1,200円・片道あたり)

運航日	出発地	出発時間	到着地	到着時間	申込記号
2月18日(金)	鹿児島空港	10:40	城山観光ホテル	11:25	SB-1
		11:30		12:15	SB-2
2月19日(土)	鹿児島県文化センター(宝山ホール)	12:40	鹿児島空港	13:25	SB-3

宿泊のご案内

- ご宿泊日**：平成23年2月17日（木）「大会前日泊」・18日（金）「大会当日泊」
 ●**宿泊料金**：1泊朝食付き（消費税・入湯税・サービス料込）



料金 ランク	地図 番号	ホテル名	部屋タイプ	申込 記号	料金 (1泊朝食付)
S	①	城山観光ホテル（温泉大浴場付） 「分科会・交流会会場ホテル」	シングル（山側）	S-1	14,000円
			ツイン（山側）	S-2	13,000円
			トリプル（山側）	S-3	13,000円
			ツインのシングルユース（山側）	S-4	21,000円
			ダブルのシングルユース（山側）	S-5	21,000円
			ダブル又はツインのシングルユース（海側）	S-6	24,000円
A	②	ホテル・レクストン鹿児島	シングル	A-1	8,500円
			ツイン	A-2	7,500円
B	③	鹿児島ワシントンホテル	シングル	B-1	8,500円
			ツイン	B-2	7,500円
	④	JR九州ホテル鹿児島	シングル	B-1	8,500円
			ツイン	B-2	7,500円
C	⑤	ブルーウェーブイン鹿児島	シングル	C-1	8,000円
			ツイン	C-2	7,500円
D	⑥	かごしまプラザホテル天文館	シングル	D-1	6,000円
			ツイン	—	設定なし
	⑦	エースイン鹿児島	シングル	D-1	6,000円
			ツイン	—	設定なし
E	⑧	ホテルアービック鹿児島	シングル	E-1	7,500円

◎ツインご希望の方は必ず同室者名を申込書備考欄にご記入ください。
 ◎すべて1泊朝食付でご利用の場合の料金となっております。

国内旅行総合保険のご案内

大会期間中の安全対策には皆様万全を期されていることとは存じますが、より安心してご参加いただくために、任意保険（傷害）のご案内をさせていただきます。

この保険は、大会参加中や往復の移動中の事故、窃盗など万一の時の被害に対する思わぬ出費を補償する保険です。
 参加者の皆様方がより安心してお過ごし頂くためにご加入をお薦めいたします。

補償額一覧表 【保険料】 お一人様 1,000円

保険金額	傷害	傷害死亡	3,000万円
		後遺障害	90万円～3,000万円
		入院保険金日額	12,000円
		通院保険金日額	7,500円
	救援者費用保険金額		100万円

※この保険によって補償される期間（保険期間）は平成23年2月17日午前0時から2月19日午後12時までで、かつ、本大会にご参加の為にご自宅をご出発されてから帰宅までとなりますのでご注意ください。（保険期間中であっても一度帰宅した後に別の目的で再び出かけた場合は補償の対象とはなりません）

視察研修のご案内

Aコース「篤姫ゆかりの地散策と名湯指宿温泉」

【最少催行人員 20 名】

2月19日(土)	鹿児島県文化センター====奄美の里(名物鶏飯の昼食)====今和泉散策(天璋院篤姫の実父が眠る島津家墓地や豊玉媛神社など散策) 13:00発 13:30~14:20 ====指宿白水館(泊) 16:30 ※名物砂むし温泉は料金別途 1,200 円 ※ 2002 年日韓首脳会談が行われた(デラックス)ホテルです。
2月20日(日)	ホテル====九州の小京都・知覧: 武家屋敷群散策~特攻の母・島浜トメの富屋食堂~知覧特攻平和会館~昼食====鹿児島中央駅(西口) 9:00 9:50 ~ 13:00 13:50 ====鹿児島空港 高速 14:40

お一人様@ 34,500 円「4 名様 1 室利用」(申込記号 A-4)
お一人様@ 36,500 円「3 名様 1 室利用」(申込記号 A-3)
お一人様@ 39,500 円「2 名様 1 室利用」(申込記号 A-2)

Bコース「屋久島観光」

【最少催行人員 20 名】

2月19日(土)	※船内昼食 鹿児島県文化センター====南埠頭~~~~宮之浦港====屋久島環境文化村センター====志戸子ガジュマル園====宮之浦(泊) 12:45発 タクシー 13:15 高速船 15:00 15:10~16:10 16:20~16:40 17:00
2月20日(日)	ホテル====屋久杉ランド~紀元杉====千尋の滝====安房(昼食)====安房港~~~~南埠頭 8:00 9:00~10:30 11:20~11:50 12:10~13:00 13:30 高速船 15:30

お一人様@ 45,800 円「4 名様 1 室利用」(申込記号 B-4)
お一人様@ 46,800 円「3 名様 1 室利用」(申込記号 B-3)
お一人様@ 49,300 円「2 名様 1 室利用」(申込記号 B-2)

Cコース「桜島観光」

【最少催行人員 20 名】

2月19日(土)	鹿児島県文化センター====鹿児島港~~~~桜島港====レインボー桜島(薩摩御膳の昼食)====長洲剛「叫びの肖像」==== 12:45発 13:00 フェリー 13:15 16:10~16:30 桜島港~~~~鹿児島港====JR鹿児島中央駅====鹿児島空港 16:45 フェリー 17:00 17:20頃 18:10頃
----------	--

お一人様@ 7,500 円(申込記号 C-1)

※旅行代金に含まれるもの

「Aコース」①バス代 ②高速代 ③昼食代 ④保険料 ⑤宿泊代(1泊2食付) ⑥入場料 ⑦添乗員費
「Bコース」①バス代 ②高速代 ③昼食代 ④保険料 ⑤宿泊代(1泊2食付) ⑥入場料 ⑦添乗員費
⑧県文化センター~北埠頭のタクシー代 ⑨高速船代(往復)
「Cコース」①バス代 ②入場料 ③保険料 ④昼食代

※旅行代金に含まれないもの…①飲み物代 ②冷蔵庫など個人にかかわるもの

※参加人員が20名に達しない場合、旅行を催行できない場合があります。その場合、当社よりご参加希望の方へご連絡いたします。

お申込・参加券(請求書)の送付と代金振込みについて

※参加希望者は、大会参加・宿泊・交流会・視察研修申込書により **12月25日(土)** までに、アローツーリスト株式会社までお申込ください。
お申込はFAXまたはホームページよりお願い致します。

※申込後、大会の21日前~7日前を目安に**参加券等**と一緒に振込口座名が記載された請求書を同封し、送付させていただきますので弊社指定口座へお振込ください。尚、振込手数料は各自ご負担をお願いいたします。

変更・取消について

※変更・取消につきましては、聞き間違いや混乱を避けるため、お電話の受付は致しません。お手数でもFAXにてご送信ください。

※大会参加・宿泊・交流会・視察研修等の取消につきましては下記の通り取消料がかかります。ご了承ください。

	大会参加	宿泊	交流会	航空便	視察研修	保険
~1月25日(火)	無料	無料	無料	無料	無料	無料
1月26日(水)~2月2日(水)	100%	20%	無料	20%	無料	無料
2月3日(木)~2月10日(木)	100%	30%	30%	30%	30%	無料
2月11日(金)~2月16日(水)	100%	50%	50%	50%	50%	100%
2月17日(木)(前日)	100%	100%	100%	100%	50%	100%
当日及び無連絡	100%	100%	100%	100%	100%	100%

個人情報の取扱いについて

※アローツーリスト株式会社は、お申込の際にご提出頂いた個人情報について、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の提供するサービス手配及び受領のための手続きに利用させて頂くほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。また、大会主催者事務局に提供いたします。それ以外の目的でご提供いただく個人情報は、利用いたしません。

大会に関するお問い合わせや大会参加・宿泊・交流会・視察研修等などについてのお問い合わせ



アローツーリスト株式会社

担当：山下・中間

〒892-0815 鹿児島市易居町2-9 インカムビル2F

営業時間 月曜日~金曜日 9:00~18:00(土日祝祭日は休日)

TEL 099-226-6000 FAX 099-226-7031 URL <http://arrow-tourist.jp/>



**第5回 日本介護支援専門員協会全国大会 in 鹿児島
第2回 九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会 鹿児島大会
開催要項**

大会専用のホームページを
ご覧ください。

arrow-tourist.jp

**特定非営利活動法人
鹿児島県介護支援専門員協議会**

〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目3-0番8号(県老人福祉会館2F)

TEL 099(255)0072 FAX 099(298)1737

E-mail kagozen@po5.synapse.ne.jp

<http://www3.synapse.ne.jp/kaken-cm>

